

平成 28 年 12 月 20 日

衆 参 内 財 国 内	議 議 閣 務 土 閣	院 院 総 務 交 官	議 議 理 大 通 房	長 長 臣 臣 大 長 官	} 様

盛岡市内丸10番 1 号  
岩手県議会議員 田 村 誠

#### 河川整備の更なる促進を求める意見書

国管理河川の早急な整備、改修を行うとともに、県及び市町村管理河川の改修に必要な事業費の確保が図られるよう強く要望する。

#### 理由

本年 8 月 30 日に気象庁が統計を取り始めて以来初めて東北地方太平洋側へ上陸した台風第 10 号により、本県をはじめ、北日本の広い地域において多くの尊い生命や財産が失われた。

本県においては、岩泉町など沿岸北部を中心に集中豪雨に見舞われ、河川の氾濫等によって 20 名の尊い命が失われたほか、家屋や農地、公共施設等に甚大な被害がもたらされた。

台風第 10 号災害は、想定を超える豪雨がもたらしたものであるが、広大な県土を有する本県には多くの河川があるものの、未整備区間や無堤区間も多く、また、長年に渡り河道内に堆積した土砂や、堤外地の立木が被害を増大させたとの指摘もあり、今後は、堤防の強化や無堤地帯の解消、河道掘削と合わせて、堤外地の立木の処理撤去等も積極的に進め、被害を最小限に食い止める対策を講じる必要がある。

よって、国においては、今後も発生する豪雨災害に対応するため、北上川をはじめとした国管理河川の早急な整備、改修を行うとともに、県及び市町村管理河川の改修に必要な事業費の確保を図るよう強く要望する。

上記のとおり地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。